

第28期 第2四半期報告書

(2021年10月1日から12月31日まで)



2022年2月2日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)

株式会社 旅籠屋

英文名 (英文商号)

Hatagoya & Company

代表者の役職氏名

代表取締役社長 吉井 慎也

本店の所在地

東京都台東区寿3丁目3番4号

電話番号

03-3847-8858

連絡先

常務取締役 小島 裕生

I 当期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別		前年度	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	累計	前年同期	同期累計		
	2020.10.1~ 2020.12.31	2021.1.1~ 2021.3.31	2021.4.1~ 2021.6.30	2021.7.1~ 2021.9.30	2021.10.1~ 2021.12.31	2021.7.1~ 2021.12.31	2021.7.1~ 2021.12.31	2020.7.1~ 2020.12.31		
I 営業収益 売上高	429,273	302,119	304,616	423,269	468,136	891,405	+3.5%	861,556		
II 営業費用 売上原価	423,715	422,672	416,101	420,077	432,937	853,015	+1.2%	842,492		
販売費及び一般管理費	62,567	53,779	67,366	60,252	56,209	116,462	+3.4%	112,601		
営業利益または営業損失(▲)	▲57,008	▲174,331	▲178,851	▲57,060	▲21,010	▲78,071	—	▲93,536		
III 営業外収益	4,965	29,642	27,530	3,734	2,607	6,341	▲55.3%	14,171		
IV 営業外費用	5,643	5,678	7,217	5,690	4,066	9,757	▲21.2%	12,387		
経常利益または経常損失(▲)	▲57,686	▲150,367	▲158,538	▲59,017	▲22,470	▲81,487	—	▲91,752		
V 特別利益	—	—	0	0	—	0	—	—		
VI 特別損失	359	400	379	50,000	230	50,230	+13.891.6%	359		
税引前四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲58,046	▲150,767	▲158,916	▲109,016	▲22,700	▲131,716	—	▲92,112		
法人税、住民税	2,187	2,187	11,127	4,422	4,422	8,845	+102.2%	4,375		
法人税等調整額	—	—	▲2,387	—	—	—	—	—		
四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲60,234	▲152,955	▲167,656	▲113,439	▲27,123	▲140,562	—	▲96,488		
期中平均株式数	5,589	5,589	5,589	5,589	5,589	5,589	—	5,589		
1株当たり四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲10,777円	▲27,367円	▲29,998円	▲20,296円	▲4,853円	▲25,149円	▲7,885円	▲17,264円		

・潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

・前年度第2四半期の特別損失359千円は北九州八幡店の非常用発電機入れ替え、同第3四半期の特別損失400千円は日光鬼怒川店の野立て看板撤去、同第4四半期の特別損失379千円は那須店の野立て看板撤去、当年度第2四半期の特別損失230千円は秋田六郷店の看板撤去にそれぞれ伴う固定資産除却損です。当年度第1四半期の特別損失50,000千円は、代表取締役甲斐真、取締役金子和義の退任に伴い、その在任中の労に報いるため贈呈する役員退職慰労金です。

(2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	前年度	当年度	当年度	
		第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	第1四半期末	第2四半期末	
		2020.12.31	2021.3.31	2021.6.30	2021.9.30	2021.12.31	
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	370,108	418,775	439,104	345,748	400,733
		その他	176,452	99,340	99,247	99,704	99,733
		流動資産合計	546,561	518,115	538,351	445,452	500,466
	II 固定資産	リース資産	332,061	322,092	312,122	302,152	292,183
		他の有形固定資産	1,074,789	1,052,775	1,035,915	1,012,567	989,684
		無形固定資産	30,478	27,936	25,395	22,853	20,367
		投資その他の資産	198,081	198,355	196,393	182,079	182,721
	固定資産合計	1,635,411	1,601,160	1,569,826	1,519,654	1,484,956	
	資産合計	2,181,972	2,119,275	2,108,177	1,965,106	1,985,422	
(負債の部)	I 流動負債	494,965	513,778	532,819	564,968	652,290	
	II 固定負債	リース債務	389,893	376,202	361,962	350,307	334,085
		他の固定負債	1,143,718	1,228,856	1,380,614	1,330,488	1,306,827
	負債合計	2,028,577	2,118,837	2,275,396	2,245,763	2,293,203	
(純資産の部)	I 株主資本	資本金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		その他資本剰余金	41,710	41,710	41,710	41,710	41,710
		利益剰余金 繰越利益剰余金	▲433	▲153,389	▲321,046	▲434,485	▲461,609
		自己株式	▲56,798	▲56,798	▲56,798	▲56,798	▲56,798
		株主資本合計	153,394	438	▲167,218	▲280,657	▲307,780
	純資産合計	153,394	438	▲167,218	▲280,657	▲307,780	
	負債・純資産合計	2,181,972	2,119,275	2,108,177	1,965,106	1,985,422	
	発行済株式総数	5,589株	5,589株	5,589株	5,589株	5,589株	
	1株当たり純資産	27,446円	78円	▲29,919円	▲50,215円	▲55,068円	

・長期借入金のうち1年以内の返済予定額314,548千円は、他の固定負債ではなく流動負債に含めております。

・固定負債のうち120,000千円は日本政策金融公庫から、300,000千円は商工組合中央金庫からのそれぞれ資本性借入金であり、金融検査上資本と見なされます。

(3) 株主資本等変動計算書 (2021年7月1日～12月31日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	その他 利益剰余金			
				繰越利益剰余金			
2021年6月30日残高	100,000	68,916	41,710	▲321,046	▲56,798	▲167,218	▲167,218
第1四半期中の変動額 四半期純利益				▲113,439		▲113,439	▲113,439
第1四半期中の変動額の合計				▲113,439		▲113,439	▲113,439
2021年9月30日残高	100,000	68,916	41,710	▲434,485	▲56,798	▲280,657	▲280,657
第2四半期中の変動額 四半期純利益				▲27,123		▲27,123	▲27,123
第2四半期中の変動額の合計				▲27,123		▲27,123	▲27,123
2021年12月31日残高	100,000	68,916	41,710	▲461,609	▲56,798	▲307,780	▲307,780

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「第27期事業報告書 注記表 I.重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
 - 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間収益または期間費用として処理しています。
 - 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。
- 当該四半期の貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

(5) 会計方針の変更の注記

- (1)収益認識に関する会計基準等の適用 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。この結果、損益への重要な影響はありません。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。
- (2)時価の算定に関する会計基準等の適用 「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19号及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(6) 収益認識関係

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

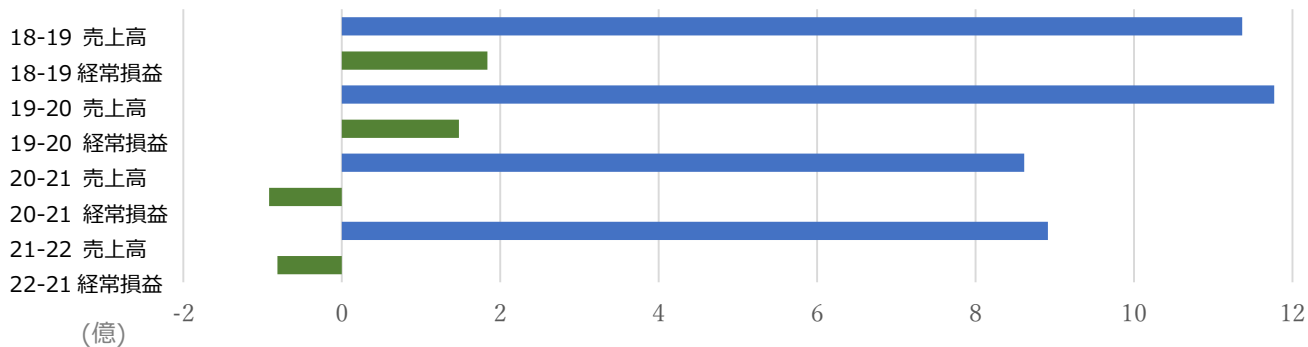
(単位：千円)

	当第2四半期累計額 2021.7.1～12.31
顧客との契約から生じる収益	891,405
その他の収益	—
合計	891,405

当社は、ホテル事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益の区分は概ね単一であることから、顧客との契約から生じる収益を分解した情報の記載を省略しております。

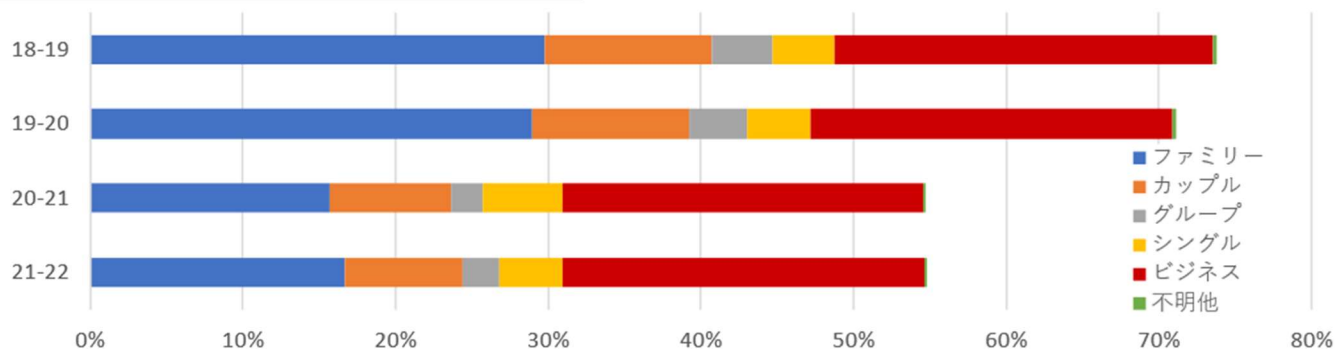
Ⅱ 第28期（2021年7月1日～12月31日）の業績の概況

売上高・経常損益(全社合計)の推移 (2021年7月1日～12月31日)



前年よりは回復したものの依然としてコロナ影響による売上の減少が続いており、7～12月の累計売上高は861百万円（前年同期）→891百万円、累計経常損益は▲91百万円（前年同期）→▲81百万円と赤字でした。

客室稼働率(全店通算、構成内訳別)の推移 (2021年7月1日～12月31日)



客室稼働率は54.7→54.8%と前年同期とほぼ同水準でした。まだ本調子には程遠い状況ですが、9月末の緊急事態宣言解除から年末にかけて徐々に回復しファミリー客が戻りました。

【部門別内訳】については、今後掲載を見合わせます。オーナー様へは要望に応じてレポートさせていただきます。

Ⅲ 第28期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

期別 科目	第25期 通期実績 2018.7.1～2019.6.30	第26期 通期実績 2019.7.1～2020.6.30	第27期 通期実績 2020.7.1～2021.6.30	第28期 通期予想 2021.7.1～2022.6.30
売上高	2,077,044	1,790,355	1,468,293	—
経常損益	149,768	▲178,097	▲400,658	—
当期純損益	87,593	▲196,776	▲417,101	—

オミクロン株による第6波の影響によりGoToトラベルの再開時期が不明であり、またコロナウィルスの完全な終息が見通せないため、今期の予想値は現時点で不明とします。

IV 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て)

科目 \ 期	第 27 期第 2 四半期 2020.10.1~12.31	第 27 期第 3 四半期 2021.1.1~3.31	第 27 期第 4 四半期 2021.4.1~6.30	第 28 期第 1 四半期 2021.7.1~9.30	第 28 期第 2 四半期 2021.10.1~12.31
現金および預金の増減額	▲229,015	+48,666	+20,328	▲93,356	+54,985
現金および預金の四半期首残高	599,124	370,108	418,775	439,104	345,748
現金および預金の四半期末残高	370,108	418,775	439,104	345,748	400,733

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て) 1年以内返済予定額は短期借入金として表示しております。

科目 \ 期	第 27 期第 2 四半期 2020.10.1~12.31	第 27 期第 3 四半期 2021.1.1~3.31	第 27 期第 4 四半期 2021.4.1~6.30	第 28 期第 1 四半期 2021.7.1~9.30	第 28 期第 2 四半期 2021.10.1~12.31
短期借入金の増減額	▲154,582	+35,020	+11,887	+3,611	+43,834
短期借入金の四半期首残高	474,778	320,196	355,216	367,103	370,714
短期借入金の四半期末残高	320,196	355,216	367,103	370,714	414,548

借入金の増加は、商工組合中央金庫（50 百万円、11 月実行）、東日本銀行（10 百万円、11 月実行）、きらぼし銀行（50 百万円、11 月実行）からのそれぞれ当座貸越の借入と、約定返済の差額によるものです。

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て) 1年以内返済予定額は短期借入金として表示しております。

科目 \ 期	第 27 期第 2 四半期 2020.10.1~12.31	第 27 期第 3 四半期 2021.1.1~3.31	第 27 期第 4 四半期 2021.4.1~6.30	第 28 期第 1 四半期 2021.7.1~9.30	第 28 期第 2 四半期 2021.10.1~12.31
長期借入金の増減額	▲79,046	+85,138	+154,145	▲51,526	▲25,061
長期借入金の四半期首残高	1,201,977	1,122,931	1,208,069	1,362,214	1,310,688
長期借入金の四半期末残高	1,122,931	1,208,069	1,362,214	1,310,688	1,285,627

借入金の減少は、約定返済によるものです。

(4) 投資その他の資産の内訳 第 28 期第 2 四半期末（2021 年 12 月 31 日）時点（千円未満は切り捨てて表示）

172,750 千円	… 借上直営店における差入れ保証金（契約満了時返済）
8,760 千円	… 保険料積立金
1,210 千円	… 取引信用金庫などへの出資金
合計 182,721 千円	

V 今後の事業展開について

「水戸大洗店」のリニューアル完了

6号店である「水戸大洗店」は2001年10月のオープンから20年が経過し、10年間の新規契約を結びました。これに伴い、9月下旬から大幅な工事を実施し、12月にリニューアルオープンしました。

「北上江釣子店」閉店

7号店である「北上江釣子店」は2002年6月のオープンから20年が経過し、契約期間終了に伴い2022年6月に閉店いたします。

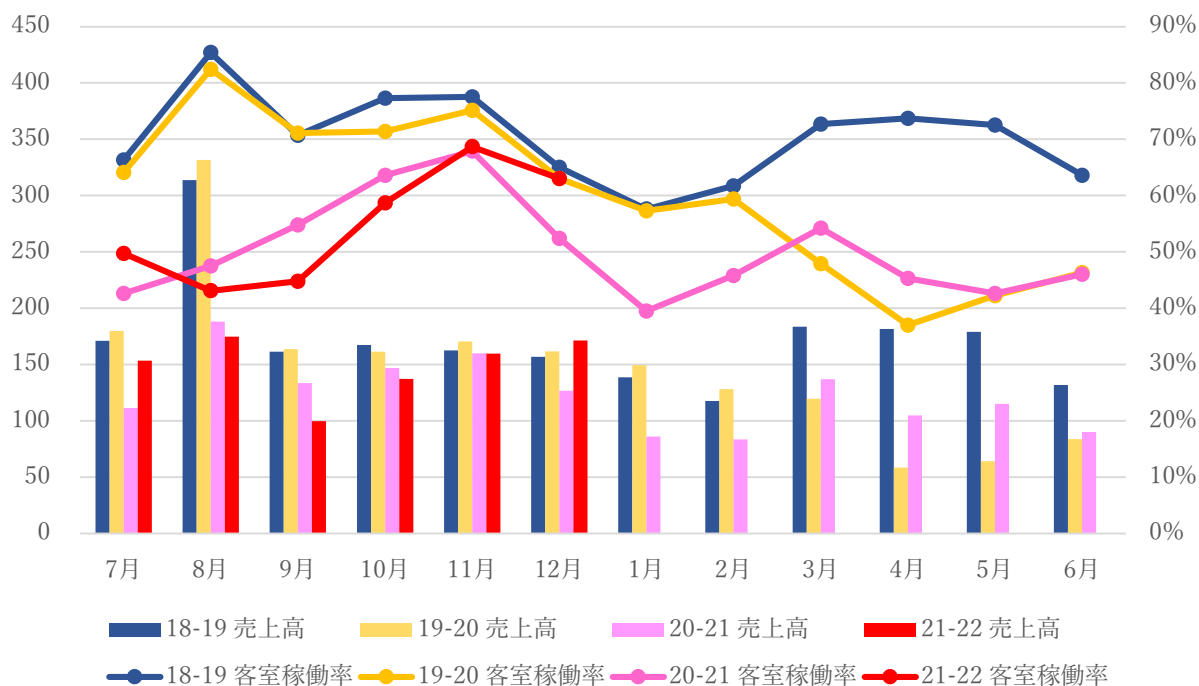
コロナ禍の影響

9月末に緊急事態宣言が解除され年末に向けて稼働が回復しましたが、現在オミクロン株による第6波が到来しています。年内は何とか稼働を保ち、売上高（前年第2四半期比 +9%）、客室稼働率（前年第2四半期差 +2ポイント）となりました。

ただし、例年に比べると低調であることは変わりなく、予定されていたGoToトラベルキャンペーンの実施は見送られました。また部材や消耗品等の価格が高騰しており、収益を圧迫し始めています。

現在、オミクロン株の猛威が続いておりますが、各店舗とも感染防止対策をしっかりと実施して、社会基盤のインフラとして営業を続けていく方針です。

◆売上高と客室稼働率の月次推移



なお、資金繰りに関しては、前期に日本政策金融公庫より150百万円、商工組合中央金庫から300百万円の資本性劣後ローンの融資を受けることで実質的な資本増強効果が得られており、債務超過に対して財務上は健全性を高めております。また7月には東日本銀行より40百万円、11月には商工中金より50百万円、きらぼし銀行より50百万円、東日本銀行より10百万円を追加で借入れ、資金繰りを強化しました。さらに現在、財務の健全性を保つための対策を進めております。

以上